

松原ファミリー ニュース

住民参加のデイサービスをとおして
地域福祉の拠点づくりを



発行：NPO 法人 介護支援の会松原ファミリー
〒580-0031 松原市天美北 6-446-5
TEL.072-332-3120
FAX.072-332-3186
Eメール npo@matsubara-family.org
URL <http://www.matsubara-family.org>



フェイスブック 介護支援の会松原ファミリー

◆ 介護保険指定通所介護施設 デイハウス松原「ファミリー」

「本人が決めるケア」を実践します ～日本認知症ケア学会に参加して～

NPO 法人介護支援の会松原ファミリー 代表理事 林 祐二



6月3日・4日、京都で「第24回日本認知症ケア学会大会」が開催され、私はWEBで参加しました。WEB参加のメリットを活かし、数多くの認知症に関する講演やシンポジウムを視聴することができました。

大会長は当法人や松原介護者家族の会もご縁のある、松本一生先生（医療法人圓生会松本診療所院長）でした。先生は講演で医師として、認知症の本人、その介護者家族、そして、認知症の人を支える介護や福祉の専門職それぞれの方を支えることの重要性、医療と介護の連携の大切さを話されました。

大会ではさまざまな立場の方から、実践的な取り組みや研究報告がありました。その中で、私は「意思決定支援」というテーマに関心を持ちました。コロナ禍を経て、今ほど「認知症の人の立場に立って、その気持ちに共感し、気持ちに“沿う”介護者でいたい」と感じたことはありません。しかし、「それは理想だ。現実難しい」と、忙しい介護の現場で、私たち介護者の立場を優先したケアをしてしまっていないかと反省もしています。

認知症の人の立場に立った介護。それが困難な場面はあるかもしれませんが、しかし、本人の意思を尊重することが大切です。「意思決定支援」という課題に対して、2018年、「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」も示されています。

ファミリーは認知症対応型通所介護施設です。判断能力が十分でなく、意思決定に不安や戸惑いがある方もいます。それでも食事、排泄、入浴の場面をはじめ多くの関わりにおいて、根気よく、ゆっくり、本人の立場に立って、「本人が決める」ことができるように専門職として努力することが大切だと考えています。これからも努力してまいります。

認知症ケア専門士（日本認知症ケア学会が認定する資格）としても、いろいろな思いをめぐらせた2日間でした。コロナ禍の3年間の苦難を経た「今」だからこそ、関係者の皆様と協力し、改めて認知症の人の立場に立ったケアを、ファミリーのスタッフとともに、チームで実践してまいります。

デイハウス松原「ファミリー」物語 その1 ファミリー誕生前夜

デイハウス松原「ファミリー」（以後、ファミリーと略記）は介護保険サービスの認知症対応型デイサービスとして活動を開始して23年ですが、2024年春に創立30年を迎えます。宅老所時代を入れると34年になります。地域の皆さまや関係者の皆さまのご支援を得ながら活動が続いてきたことに感謝し、これまでのファミリーの歴史を振り返り、これからのファミリーを考える機会にしたいと思います。

第1回目はファミリー誕生前夜のお話です。

1990年2月に現在のファミリーの源流となる「宅老所」がスタートしました。

1988年3月に、当時の松原保健所の保健師や精神保健福祉相談員の支援を受けて発足した、「松原老人を支える家族の会（現「松原介護者家族の会」）」が主催して、介護ボランティア友の会が運営しました。会場は柴垣にある老人福祉センターの一角。週2回の活動でした。

1990年頃は老人福祉サービスやデイサービスも少なく、認知症高齢者とその家族が抱える課題に対する理解も少ない時代でした。周囲に遠慮しながらの活動だったようですが、ボランティアのお世話で、通ってくる認知症の高齢者もご家族も孤独感から解放されて日頃のストレスが癒されたようです。以後、デイハウス松原「ファミリー」と名づけて活動を開始するまでの約4年間、ボランティアによる活動が続きました。

出典：「住民参加による認知症デイの10年」～ 私たちの介護NPO～

*「宅老所」は老人を預ける所としての「託老所」ではなく、自宅のように過ごしていただく場所、活動として1990年代から取組まれてきました。全国的には現在もこの名称を使ってデイサービスを行っているところもあります。



テイルームの日々

ブログでも紹介しています！

詳しくはこちらからもー



夏祭り！ 懐かしい…

ここ数年、コロナ禍で人の集まりが規制されましたが、今年の夏は「ファミリー夏祭り」を開催しました。夏祭りや盆踊り大会、縁日の屋台等、子供の頃を思い出して楽しんでいただけたらと思います。

金魚釣り（事前に皆さまに折っていただき準備）をしたり、「炭坑節」を踊ったり、スマートボールで勝負したり、駄菓子当てなどなど、大変、盛り上がりました。

ティータイムにはかき氷を食べながら、「夏祭り、懐かしかったなあ」「かき氷も久々に食べたら、おいしいね」と会話され、楽しい夏祭りを過ごしていただきました。Y.K.



金魚釣り！

8月は“花火”！

テイルームの「壁面飾り」は毎月テーマを決めて製作しています。8月のテーマは“花火”。

新聞広告と折り紙を折って作りました。最初は「広告で何作るの？」と聞かれましたが、できあがって壁面に飾ると、「わあ～キレイ！花火やね！」「え～！新聞広告で、できてるとは思えないね」「少し、離れて見ると、もっとキレイよ」と。しばらく眺めながら、話がはずみました。T.N.



Aさんの折り紙作品 会話も弾みます！



わあ～
きれい

70歳台のAさん。お花やキラキラ輝く天の川など、季節に合った創作作品を持ってきてくださり「娘と作ったの」と、とてもステキな笑顔で紹介してくれます。どれもとても綺麗で可愛くて、娘様と仲良く作られたんだろうな～♡という様子が伝わってきます。

皆さまが見えるところに飾らせて頂いているのですが、それを見たご利用者が「わあ、キレイ～」と言うと、他のご利用者が「あの人が作りはってん！すごいやろ～」と、またまた紹介が始まります。素敵な作品のおかげで皆さまの会話も弾み、笑顔もいっぱいです。M.T.



ファミリー利用者 家族交流会 ぜひご参加ください！

デイハウス松原「ファミリー」では、毎月、ご利用者のご家族の介護負担の軽減を目的に「ファミリー利用者家族交流会」を開催しています。スタッフや理事も参加し認知症ケアや介護等の情報を共有したり、自宅での様子や悩みをお聞きしています。参加者どうしの交流の中でアドバイスを受けられたご家族は、早々に実行されて、次の交流会では「上手くいった」と、喜びの報告をして下さるなど、とても有意義な時間になっています。

介護者がひとりだけで悩まず、情報を共有し共感できる場として交流会を活用していただきたいと思います。事前参加のご連絡は必要ありません。お気軽にご参加ください。

日時：毎月第一木曜日、13:00～15:00
会場：城連寺コミュニティセンターにて
お待ちしております。 施設長 桂 正子



スタッフ紹介 介護スタッフ 奥野京子さん



好きな鰻を食べて夏を乗り切ろうと思います。

真夏に生まれた夏好きの私ですが、暑さが年々、苦手になってきました。けれど、健康管理は大切な仕事ですね。ご利用者の笑顔のパワーを頂いて、自身も笑顔と初心を忘れず、

新人スタッフ紹介 厨房スタッフ 明石直江さん

学生食堂で26年間、レジやホール係の仕事をしていました。今は5人の孫がいる普通のおばあちゃんです。

これからは、ご利用者の口に合うお食事が作れるように頑張りたいと思います。皆さま、よろしくお祈りいたします。



研修会報告

2023年度は参集型の研修だけでなく、e-ラーニングも活用しながら多様な研修を行い、スタッフの資質向上を図っています。毎月のテーマは以下のとおりです。



- 4月は「新入浴設備取り扱いについて」（参集にて対面実施）
 - 5月は「高齢者の尊厳・倫理・法令遵守」、「事故発生予防・再発防止」について
 - 6月は「接遇マナー」、「感染症・食中毒」について
 - 7月は「感染症・食中毒予防・まん延防止」について
 - 8月は「高齢者虐待防止について」（参集にて対面実施）
- e-ラーニングは各自が研修（動画視聴）後に、簡潔に概要の記録や感想を記入し、管理者へ提出をして研修終了としています。各スタッフからは、それぞれの環境、ペースで「落ち着いて学べるので良い」と概ね好評です。
- 4月は実際の設備を使って、安全に入浴を楽しんでいただくために研修を行いました。
- 8月は、法定研修のひとつ「高齢者虐待防止研修」でした。理事の佐瀬美恵子氏（日本高齢者虐待防止学会会員）により1時間の研修。内容は「高齢者虐待と認知症ケア」でした。職員との意見交換も行い、最後に高齢者虐待を未然に防ぐための自己チェック表をチェックして終了しました。

<ワンポイントメモ>

e-ラーニング（e-Learning）とは、パソコンや、スマートフォンなどを使って、あらかじめ録画された動画を視聴して学びます。



今年度、ファミリーではS社の作成した研修動画を使用しています。1回、10～15分程度の研修になります。e-ラーニングのメリットはスタッフの都合の良い時間に、何度でも繰り返し学習（視聴）できることです。デメリットは受け身の学習になりやすいこと、その場で質問できないことなどがあります。テーマによって参集型と組み合わせて研修してまいります。



少しづつ ボランティア受け入れ再開！

デイハウス松原「ファミリー」では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、テイルーム内でのボランティア活動を中止してまいりましたが、10月より徐々に受け入れを再開したいと考えております。

ボランティア活動に参加して下さる皆さまには、現在のファミリーの認知症ケアや感染予防対策についてご理解いただき、無理なく有意義に参加いただきたいと思います。

ファミリーでのボランティア活動をご検討いただける皆さまとの再会、新しい出会いを心待ちにしております。

代表理事 林祐二



お知らせ・予定

早く涼しくなり
ますように！



涼しくなったら、プランターにお花を植えたり、秋のお散歩にお出かけしたいと思います。M.T.



ご利用・見学・体験ご連絡ください！

利用者定員 12 名の小さなデイサービスです。
一人ひとりに寄り添ったケアが受けられます。
ご見学・体験利用随時受付しております。
事務局までお問い合わせください！
☎ 072-332-3120 まで

ノロウイルスに注意しましょう！

ノロウイルス感染症は冬に多い病気ですが、1年を通して発生していますので、今回のテーマにしました。他の胃腸炎に比べ、激しい嘔吐が特徴です。



主な症状：吐き気・嘔吐・下痢・腹痛・軽度発熱
※ 嘔吐した物を誤嚥したり、喉に詰まらせる恐れがあるため注意が必要です。
合併症：脱水症（病院で点滴をする必要がある場合もあります）
潜伏期間：12～48時間（平均1～2日）
経過：1～3日症状が持続（平均1～2日）
感染経路：経口感染（ノロウイルスに汚染された食品を加熱不十分で食べた場合）
接触感染や乾燥した環境での空気感染もあります。
感染予防：手洗い：石けんと流水で（調理する前、食事の前、トイレの後など）

加熱



感染者の触れた場所・衣類・寝具等（特に吐瀉物・糞便が付着したものは次亜塩素剤を薄めてふき取りや付け置きをしましょう。
アルコールでの消毒は効果がありません。
ノロウイルスは感染力が強いので、注意しましょう！

☆スタッフ募集☆

未経験の方も大歓迎！
経験豊かなスタッフが一緒にケアを行います！
詳しくは、事務局までお問合せください！
☎ 072-332-3120



詳しくはこちらから➡

いつもありがとうございます

いつもファミリーのことを気にかけていただき、ありがとうございます。ご寄付やお菓子、美味しいお米、広告紙で丁寧に折られた箱など、お届け頂き、本当にありがとうございます。
広告紙で折られた箱は机の上や、色々な場面で活躍しています。ある時、ご利用者が「この箱、折ってみたい」と。そこで、一緒に折ってみました。完成した箱を見て、とても満足そうでした。S.T.

賛助会員としてご協力ください

会員数 99 人 (2023年9月20日現在)

NPO法人の組織運営は会員制度を基本としています。私たちの趣旨をご理解・ご賛同いただき一人でも多くの方が加わって下さることを願っています。
ぜひ賛助会員としてご協力ください。ご入会をご希望の方は、事務局までご一報いただければ、入会申込書などをお送りいたします。

個人 年会費 1口 3,000円
団体・法人 年会費 1口 5,000円

<郵便振替口座>

口座番号: 00920-5-158490

加入者名: 特定非営利活動法人
介護支援の会松原ファミリー

編集後記

ファミリーニュースをご覧いただき、ありがとうございます。
夏祭り WEEK では岡町会から「スマートボール」、城連寺連合町会から「かき氷機」などをお借りして、よりお祭り気分を味わう事が出来ました。
ご協力いただき、ありがとうございました。いつも、地域の皆様や関係者の皆さまのご支援を頂き、「ファミリー」は来春、創立30周年を迎えます。
これからも応援のほど、よろしくお願いいたします。 M.T.

※写真掲載については、家族及び関係者等の了解をいただいています。